

指定校番号	28045	学級活動	児童会・生徒会活動	学校行事	○	別紙様式
-------	-------	------	-----------	------	---	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立廿日市小学校	校長	沖野 稔則	生徒指導主事	瀬尾 啓子
-----	-------------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『全校合唱』

取組のねらい『キーワード：自己肯定感を高める』

◎全校児童が歌声を合わせることの楽しさ、響き合いの美しさを共有する活動を通して、協調性、感性、自信感を育て、自己肯定感を高める。

取組の具体的内容『キーワード：自信をもたせる練習と披露の場の設定』

- (1) 「音楽朝会」を毎月1回（原則第4火曜日：10分間）実施…全校児童が体育館に集い全校合唱
 - ・年度初めに、「音楽朝会」の年間計画（曲目、ねらいと内容）を担当が提示…CDも一括配布
 - ・音楽委員会児童が学級用掲示歌詞カードを作成し配布
 - ・放送委員会児童が昼の放送時に曲を紹介
 - ・「音楽朝会」までに学級で練習し、歌詞を覚えるよう担任が指導
 - ・5・6年生から「音楽朝会」の『ステージメンバー』を募集



- (2) 「歌声タイム」を毎週月曜日の朝に設定し、担当が放送により「音楽朝会」で合唱する歌の指導…児童は各教室で合唱

- (3) 全校児童が「全校合唱」
 - ・歌声タイムや音楽朝会、全校音楽（音楽授業）で練習してきた曲を学習発表会で保護者や地域の方に披露



取組の課題・創意工夫『キーワード：さらなる自己肯定感の向上に向けて』

- 「音楽朝会」に向けて、5・6年生から、『ステージメンバー』を募集し事前に練習する。当日は、ステージで、歌い方の手本を示し、みんなからの称賛を受け、自己肯定感を高めることにつながる。
- 学習発表会の全校合唱に向けて、5・6年生から『ソロメンバー』を募集し事前に練習する。全校合唱の一部に、『ソロメンバー』だけで歌唱するパートを取り入れる。
- 「歌声タイム」のときも、各学級の合唱の様子を担当が見て回り、良かった点を放送で伝える。
- 学習発表会では、保護者や地域の方から、メッセージカードに感想を書いていただき掲示した。
- 「音楽朝会」「歌声タイム」「全校音楽」「ステージメンバー」「ソロメンバー」等、一連の活動を全校でバックアップしていることが、成功につながっている。



取組の成果（効果）『キーワード：自己肯定感・自己有用感の向上』

○保護者や地域の方から、「全校合唱」を聴いて感動したという声をたくさんいただいた。

<メッセージカードより>

全校のみなさんへ
みなさんのもつ歌の力はすごいですね。
心が洗われました。

全校児童のみなさんへ
全校合唱とてもすてきでした。気持ちのこめられた歌声に感動して涙が出ました。

廿日市小学校のみなさんへ
子どもたちの一生懸命がんばる姿、心をこめて歌う姿に感動して涙が出ました。
すばらしかったです。



○『ステージメンバー』や『ソロメンバー』には、日頃、登校を渋ることのある児童や遅刻の多い児童、特別支援学級児童なども自分から進んで参加しており、事前に渡している練習日程を見て、遅れないように練習に参加している。本番もみんなからの称賛を受け、よい表情をしていた。

○他の取組とも合わせ、自己肯定感、自己有用感が高まった。

- ・6月基礎・基本定着状況調査…自己肯定感82％，自己有用感72％
- 1月学校評価児童アンケート…自己肯定感85％，自己有用感79％

今後の展開『キーワード：感謝と次の学年への準備』

- ・1・2月の「音楽朝会」は、卒業生やお世話になった方への感謝の気持ちをこめて、『さくら』を合唱する。3月は、6年生を送る会や卒業式、離任式で、心をこめて合唱する。
- ・年度末に、「廿小アシスタント」の募集（現5年生）と紹介を行うことを通して、新6年生に上級生としての役割や責任を意識させ、自己肯定感、自己有用感をさらに高める。
→教務部と生徒指導部との連携
- ※「廿小アシスタント」は始業式の朝、「廿小アシスタント」ネームホルダーをつけて、低学年児童のクラス替え名簿から名前探しを手伝ったり、新靴箱や新教室へ誘導したりする。

他校へのアドバイス『キーワード：全校での取組』

- ・年間通じて、継続して計画的に進めることが重要であるため、全校で協力体制を築き、取り組むことが必要である。